



低地では普通に見られる。



葉は枝先に集まって付く。



網状脈が見える。

## 区別のポイント

葉は枝先に集まって付く。葉裏の網状脈がはっきり見えるが、ユズリハは網状脈は見えず全体に白い。

葉柄は長く、普通は緑色だが紅色もある。屋久島では、ユズリハよりも低地に多い。

**形態** 常緑高木。高さ 10m。

**分布** 本州・四国・九州の暖地。沖縄などの南西諸島に分布。

**名前の由来** ユズリハより小型。

**葉** **〈全体〉**狭楕円形～倒披針形で長さ 4～15 cm。

**〈付き方〉**互生で枝先に集まって付く。

**〈葉柄〉**1.5～5 cmで緑色または紅色。

**〈基部〉**円形から広いくさび形。

**〈葉先〉**やや尖る。 **〈縁〉**全縁。

**備考** 有毒。宮之浦林道では、成葉に採食痕あり。ユズリハを芦生では時々食べるという。

**出典** 4